

株式会社ダイマルから剣淵高校へ

コルツヒーターの寄贈



11月18日、株式会社ダイマルから剣淵高校にコルツヒーターの寄贈がありました。

寄贈いただいた機器は、現在ニワトリの暖房器具として使用されています。

飼育を担当している3年次の川原志動（しどう）さんは「今まで冬になると、どうしても産卵数が減っていましたが、コルツヒーターのおかげで夏と変わらない産卵数を確保できています。学習データも収集しているのでとても嬉しいです。」と喜んでいました。

教育委員会・文化協会・スポーツ協会合同表彰式を開催



11月27日、町民センター大会議室において、剣淵町教育委員会・文化協会・スポーツ協会合同表彰式が行われました。

今年の受賞者は、教育委員会表彰3名、スポーツ協会表彰2名の合計5名でした。

主催者を代表して金村教育長からは、「これからも教育委員会として日々の活動をサポートさせていただきます。本日はおめでとうございます。」とお祝いの言葉が述べられました。

受賞された方は、下記のとおりです。（敬称略・順不同）

【剣淵町教育委員会表彰】

〈感謝状〉

旭 町 坂本 太（前剣淵町スポーツ推進委員長）

平成26年から令和6年までスポーツ推進委員として剣淵町のスポーツ振興に尽力し、令和2年からは、委員長としてリーダーシップを発揮されました。コロナ禍という困難な状況でも活動を維持・発展させ、町民の健康促進とスポーツ活動の活性化に貢献されました。

〈文化奨励賞〉

南桜町 安田 薫

平成21年からそば打ちを始め、そば打ちの技術を磨きながら手打ち蕎麦の普及に努めてきました。令和元年には一般社団法人全麺協「素人そば打ち段位認定制度」最高位の5段を取得し、現在も指導者としてそば打ちの楽しさや技術を伝えることに尽力されています。

〈スポーツ奨励賞〉

仲 町 佐藤 雄心（剣淵町柔道スポーツ少年団所属、士別誠心館道場所属）

平成25年11月から剣淵町柔道少年団に入団し、令和3年8月には「全道小学生学年別柔道大会」の65kg級において準優勝、令和6年7月の第52回北海道中学校柔道大会では81kg級で優勝、団体戦では準優勝を果たし、全国大会ではベスト16に進出しました。

【剣淵町スポーツ協会表彰】

〈スポーツ功労賞〉

西 町 阿部 英二（剣淵野球連盟所属）

平成13年から審判員として加入し、平成18年から技術部長、令和2年から副会長として町内外の野球競技の振興と普及に貢献されました。また、全日本軟式野球連盟公認1級審判員を取得し、支部・連盟大会の審判員として尽力されています。

元 町 山下 俊明（剣淵野球連盟所属）

平成5年から審判員として加入し、平成18年から事務局長、平成22年から理事長として町内外の野球競技の振興と普及に貢献されました。また、全日本軟式野球連盟公認1級審判員を取得し、支部・連盟大会の審判員として尽力されています。

町内4か所目のご当地ポストが絵本の館へ

11月24日、絵本の館前において、第4弾ご当地ポストお披露目式が行われました。

今回設置されたポストは、剣淵郵便局前、道の駅、役場庁舎前に続いて4基目です。デザインは、絵本作家の真珠まりこさんの代表作「もったいないばあさん」のイラストが描かれています。

お披露目式には、早坂町長やポストをデザインしていただいた真珠まりこさんが出席し、ご当地ポストの完成をみんなで喜び合っていました。



健康センターで認知症に関する講演会を開催

11月27日、健康センターにおいて、旭川医科大学から吉田成孝教授を講師に招いて講演会「記憶の形成と認知症」が行われました。

吉田教授からは、脳や記憶の仕組みなどの説明に加え、日頃からの認知症の予防のためにできることなどを講演いただきました。

講演会には72名の町民が訪れ、日常生活で記憶しやすい工夫や認知症の予防方法などを学んでいました。

剣淵小学校・中学校でタウンミーティングを開催

12月2日、3日に小学校、中学校で町長とのタウンミーティングが行われました。

小学校では6年生、中学校では3年生からまちづくりについての意見・要望が出され、「公園の遊具を増やしてほしい」「じゃがいもを使用したイベントの開催」など様々な提言がありました。

早坂町長は「貴重なご意見を参考に検討したいと思います。また、今回に限らず、いつでもご意見・ご要望をお待ちしています。」と述べられました。



▲左から徳田俊介営業所長、早坂町長



▲健康センターに設置される電話音声明瞭器「サウンドアーチ」

明治安田生命保険相互会社から剣淵町へ「私の地元応援募金」寄附及び電話音声明瞭器の贈呈

12月3日、応接室において、明治安田生命保険相互会社から「私の地元応援募金」431,800円の寄附及び「サウンドアーチ」を寄贈していただきました。

「サウンドアーチ」とは、電話音声を明瞭にする装置で、話し手側の電話機に設置することで聴こえに悩む方にも聴き取りやすい効果があります。

早坂町長から「いただいた寄附金、サウンドアーチは、健康福祉や子育て支援などに活用して町民の健康増進に努めています。ありがとうございます。」と感謝の言葉が述べられました。